



# Level 2-3

2019年度  
第2回



検定開始の合図があるまで問題を開いてはいけません。

まず、下記の注意をよく読んでください。

## 検定上の注意

1. 検定時間は45分です。
2. 検定開始前に答案用紙に受検番号・氏名・生年月日を必ず記入してください。
3. 検定が始まって、印刷が見えにくかったり、ページがおかしかったりしたら、手をあげて監督者に知らせてください。
4. 問題のあいているところは自由に利用してください。
5. 問題は、答案用紙と一緒に回収します。

受検番号

名前

《問題I》

次の問いに答えなさい。

第一問

「慣用句」とは、二つ以上の言葉がいつしよになって、特別の意味になる言い回しのこと

とです。□に入る言葉を、後の【言葉】ア～オの中からえらんで、慣用句を完成させ

なさい。また、それぞれの意味を、【意味】カ～コの中からえらんで記号で答えなさい。

(1) □

が合う

(2) □

のなみだ

(3) □

返し

【言葉】

ア すずめ

イ ねこ

ウ 馬

エ おうむ

オ 犬

【意味】

カ よく気が合うこと。

キ とても仲がわるいこと。

ク 相手の言葉をそのまま言い返すこと。

ケ くろうすること。

コ とても少ないこと。

第二問

( ) に入る言葉を下のカタカナからえらび、漢字に直しなさい。

(1) リモコンの( )をこうかんする。

〔デンキ      デンチ      デンワ〕

(2) ( )の空気を入れかえる。

〔オクガイ      シツナイ      オクジョウ〕

(3) ( )を決で行き先を決めた。

〔タスウ      タシヨウ      サンスウ〕

(4) ( )の公園でドッジボールをする。

〔サイキン      バシヨ      キンジョ〕

(5) ( )をこめて作った料理をふるまう。

〔マゴコロ      キゴコロ      テゴコロ〕

(6) この一年間で( )が十センチものびた。

〔タイジュウ      シンチヨウ      セイチヨウ〕

第三問 だいもん

次の語句をならべかえて一文を作りなさい。また、――線部のカタカナは、漢字に直しなさい。ただし、答案用紙の  には、主語（「だれが、何が」をあらわす言葉）、 には、じゅつ語（「どうする、どんなだ、なんだ」をあらわす言葉）が入ります。

- (1) 作った おにぎりを サンカクケイの 母は 。
- (2) 立てる 旅行の 夏休みの ケイカクを 。
- (3) ハクチョウが たくさんの とび立った いっせいに 。
- (4) 買った ぼくは バットと ヤキユウの グローブを 。

## 《問題Ⅱ》

次の問いに答えなさい。

### 第一問

次の文の主語とじゅつ語をそれぞれ答えなさい。

(1) ぼくの妹は毎日マンガばかり読んでいる。

(2) ネパールと中国の国境にあるエベレストは世界一高い山だ。

### 第二問

——線部の言葉はどの言葉につながるか（どの言葉を説明しているか）答えなさい。

(1) 遠足の おべんとうに 大すきな ウィンナーを 入れてもらった。

(2) わたしの だいじな おもちやを 妹が こわした。

第三問<sup>だいもん</sup>

(1) (2) (3) (4) に入るひらがな一字を、からえらんで答えなさい。ただし、使<sup>つか</sup>わないひらがなもあります。

きのう、ぼくはお父さん (1) といっしょにサッカーのしあい (2) 見にスタジアム (3) 行きました。おうえんしていたチーム (4) 勝<sup>か</sup>って、とてもうれしかったです。

がへとをの

《問題Ⅲ》  
もんだいさん

つぎ ぶんしょう  
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

カニがいろいろ考えたあげく、とこ屋をはじめました。カニの考えとしてはおおできでありました。

ところで、カニは、

①「とこ屋という商売は、たいへんひまなものだな。」

と思いました。と申しますのは、ひとりもお客さんが来ないからであります。

そこで、カニのとこ屋さんは、はさみをもって海っぱたにやっていきました。そこには、タコがひるねをしていました。

「もしもし、タコさん。」

とカニはよびかけました。

タコは（①）をさまして、

「なんだ。」

と言いました。

「どこ屋ですが、ご用はありませんか。」

「よくごらんよ。わたしの頭に（(1)）があるかどうか。」

カニはタコの頭をよく見ました。なるほど毛はひとすじもなく、つるんこでありました。いくらカニが上手などこ屋でも、毛のない頭をかることはできません。

カニは、そこで、山へやっていきました。山にはタヌキがひるねをしていました。

「もしもし、タヌキさん。」

タヌキは（(1)）をさまして、

「なんだ。」

と言いました。

「どこ屋ですがご用はありませんか。」

タヌキは、いたずらがすきなけものですから、よくないことを考えました。

「よろしい、かってもらおう。ところで、ひとつやくそくしてくれなきやいけない。②というの

は、わたしのあとで、わたしのお父さんの毛もかってもらいたいのさ。」

「へい、おやすいことです。」

そこで、カニの（3）をふるうときがきました。

ちよっきん、ちよっきん、ちよっきん。

ところが、カニというものは、あまり大きなものではありません。カニとくらべたら、タヌキはとんでもなく大きなものであります。その上タヌキというものは、体中が毛むくじゃらであります。ですから仕事はなかなかはかどりません。カニは口からあわをふいて一生けんめいはさみをつかいました。そして三日かかって、やっとのこと仕事は終わりました。

「じゃ、やくそくだから、わたしのお父さんの毛もかってくれたまえ。」

「お父さんというのは、どのくらい大きなかたですか。」

「あの山くらいあるかね。」

カニはめんくらいました。そんなに大きくては、とても自分ひとりでは、間に合わぬと思いました。

そこでカニは、自分の子どもたちをみなどこ屋にしました。子どもばかりか、まごもひこも、うまれてくるカニはみなどこ屋にしました。

それでわたくしたちが道ばたに見うける、ほんに小さなカニでさえも、ちやんと（4）を

持っています。

新見 南吉「蟹のしょうばい」

(表現の一部を変えています。)

第一問 (1) (2) (3) に入れるのにふさわしい言葉を、次のア～ウの中からえらんで、

記号で答えなさい。ただし、同じ番号には同じ言葉が入ります。

ア うで イ 毛 ウ 目

第二問 — 線部①「とこ屋という商売は、たいへんひまなものだな。」とありますが、カニは

なぜそのように思ったのですか。解答らんに合うように、文中からぬき出して答えなさい。

第三問 — 線部②「やくそく」とありますが、それはどんなやくそくですか。次のア～エの中

からえらんで、記号で答えなさい。

ア タヌキの体中の毛をかるやくそく。

イ 今日中にタヌキの体中の毛をかるやくそく。

ウ タヌキのお父さんの毛をかるやくそく。

エ カニの子どもたちをみんなどこ屋にするやくそく。

#### 第四問

——線部③「仕事はなかなかほかどりません。」とありますが、それはなぜですか。解

答らんとうに合うように、文中の言葉ことばを使って答えなさい。

#### 第五問

——線部④「自分の子どもたちをみなどこ屋にしました。子どもばかりか、まごもひこ

も、うまれてくるカニはみなどこ屋にしました。」とありますが、それはなぜですか。解

答らんとうに合うように、文中の言葉ことばを使って答えなさい。(。をふくみます。)

#### 第六問

(4)に入る言葉ことばを、文中からぬき出して答えなさい。

《問題Ⅳ》

次の問いに答えなさい。

第一問

次のA～Dの文章を、正しいじゆんばんにならべかえなさい。

A わたしは、その雪で弟といっしょに雪だるまを作りました。

B きのは、夜の間ずっと雪がふっていました。

C でも、今日はあたたかかったので、雪だるまは夕方にはとけてしまいました。

D だから、今朝、庭にはたくさんの雪がつもっていました。

第二問

次の文章の大切なところをまとめます。(①)～(⑤)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

それぞれ書きなさい。

(1) ぼくは運動会の練習をたくさんした。でも、運動会は雨で中止だった。

(①)は(②)を(③)が、(④)は(⑤)。

(2) 台風で庭にわの木の葉はっぱがたくさん落ちおた。だから、次つぎの日、お父さんがほうきで庭にわをはいた。

( ① ) が ( ② ) から、 ( ③ ) が ( ④ ) を ( ⑤ ) 。

## 《問題V》

### 第一問

次の文章の——線部が指すものは何か、文中からぬき出して答えなさい。

(1) わたしは、おかしやティッシュなどの空き箱を集めています。それは、来週の図工のじゆぎょうで使うものです。

(2) つえをついたおばあさんがバスに乗ってきました。わたしは、前の方のせきを指さして、おばあさんに、「あそこのせきが空いていますよ。」と、教えてあげました。

(3) 弟がかばんの中に手を入れて、何かをぐそぐそとさがしていました。わたしが「何をさがしているの。」と聞くと、「友だちにもらったカードだよ。たしかにここに入れたはずなのに。」と言ってなきだしました。

**第二問** 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

夏になると、セミの鳴き声がよく聞こえますね。日本には、(①)、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、クマゼミなど、三十しゆるいほどのセミがいると言われています。中でもアブラゼミは、沖縄県をのぞくすべての地いきに生息し、広いはんいで見る事ができます。では、アブラゼミは、どのような一生をすごすのでしょうか。アブラゼミは、夏になると、木のみきやえだに小さなあなをあけて、たまごを産みます。たまごはそのまま冬をこして、次の年の六月ごろにふ化します。ふ化したよう虫は、土の中にもぐり、木の根っこからえいようをすつて、だっぴを何回かくり返しながら大きくなり、七年もたつて、ようやく地上に出てきます。(②)、地上に出たよう虫は、木のえだや葉っぱのうらで成虫になります。(③)、成虫になったアブラゼミは、一週間から一か月ほどこしか生きられません。この短い間に、成虫はたまごを産みます。子そんをのこすため、アブラゼミのオスは一生けんめい鳴いてメスに合図を出しているのです。

(1) この文章は、何について書かれていますか。解答らんに合うように答えなさい。

(2) ( ① ) ( ③ ) に入る言葉を、次のア～オの中からえらんで、記号で答えなさい。

ア たとえば    イ つまり    ウ しかし    エ なぜなら    オ そして

(3) アブラゼミのオスはなぜ鳴くのですか。解答らんに合うように、文中の言葉をぬき出して答えなさい。

《問題VI》  
もんだいろく

次の絵を見て、後の問いに答えなさい。



## 第一問

(1) ふん水の後方には何がありますか。あとのア～エの中から二つえらんで、記号で答えなさい。

(2) はとは、何の前にいますか。あとのア～エの中から一つえらんで、記号で答えなさい。

ア ジャングルジム    イ ベンチ    ウ シーソー    エ すべり台

## 第二問

次の文章は、この公園のようすを説明したものです。(1)～(7)に当てはまる言葉を書きなさい。ただし、同じ番号には同じ言葉が入ります。

- この公園の中央には、(1)があります。(1)の後方には、左から順番に、(2)、(3)があります。(2)の手前には、はとが(4)羽いて、(5)がわの(3)には女の人がすわっています。(1)の手前には、左から(6)、(7)があります。



